

講習 2030SDGsカードゲーム

講師：(株)ミツバ環境ソリューション
神部 安希子様 スタッフ3名
(イマココラボ公認ファシリテーター)

日時：2023年7月16日 13:30~16:40

場所：桐生市民文化会館 第1研修会議室

参加 48名 太田第5団、大泉第5団、邑楽第1団、桐生第17団、桐生第2

2023年07月26日 BS桐生第22回 新藤

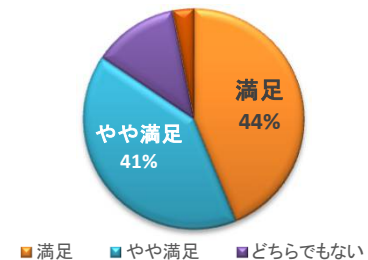


所感：ボーイスカウトでもScouts for SDGsとして活動をしているが、頭で理解してもなかなか行動に移すことなど難しい面があると思っており、他団にも声をかけ実施しました。3連休の中日で、色々行事もある中、50名近くの方に参加頂きました。今回は、パラレルワールドで実施しましたが、同じゲームで結果が異なったり新たな気付きもありました。アンケート見ても、ゲームの楽しさとSDGsの達成される世界のイメージも出来たと感じました。

1・講習の満足度&一言感想(抜粋)

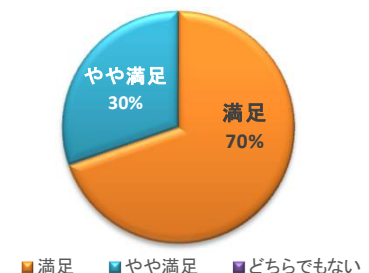
①・オープニングセミナー

- ・すごく分かりやすく、興味をそそられる良い動画もあっておもしろ
- ・分かりやすい説明の仕方をされていて理解しやすかったです。最初の自己紹介などは雰囲気などを良くしてくれたので良かったと思います。
- ・前回参加したがあまり覚えていなくて不安であった。
- ・分かりやすくSDGsを説明して頂き、わかったつもりになっていた部分が理解できた。

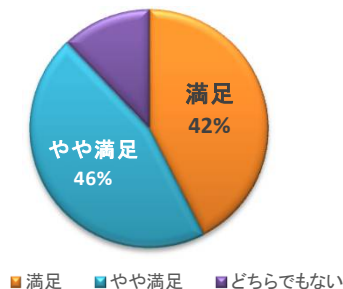


②・カードゲーム

- ・説明聞いたときは難しかったけど実際やってみてやり方が分かった。
- ・このプロジェクトをしたらどのようなかなど工夫をしながらするのが面白かった。
- ・前回の参加していても、飽きずに友達や班の人とも和気あいあいと楽しくできたので、すごく良いゲームだと思いました。
- ・色々なものと交換してもらって達成してたくさん社会とかを伸ばしておもしろかったです。



③・振り返り(つながっている世界)



- ・世界にはいろいろな問題があるということを理解できたので良かった。
- ・一般論から自分で出来ることへ落とし込めて自分でもSDGsに貢献できると思った。
- ・困っている時に「助けて」と言う。その声を聞き逃さず行動する。
- ・助け合うが足らなかった。お互いに声をかけることが必要。
- ・自分のいろんな意見が言えて前に出て発表が出来て良かったです。
- ・楽しく参加できたが、カードゲーム前半は動きが悪く守りに入ってしまったが、後半になり、カードの動きがわかり始めたが、時間が足りなくなり反省の余地あり。

2・今回の講習全体を通しての感想

- ・SDGsは何となく知っていたが、改めて自分毎に落としこめた。自分でもできることを少しずつ行い、2030年には、今よりも良い世界にしていきたい。世界の人類の一員として。
- ・SDGsについて考えることのできる良い講習だったと思います。司会の方がお話お上手だなと思いました。
- ・どんなゲームか分かりませんでしたが、やっていくうちに内容も理解させる“意図”でしたので、声に出すということ。
- ・声に出さなければわからない。声に出したら助け合うということが分かりました。自分で決めて自分で行動する。
- ・人や友達の間などを増やせるゲーム不だと思うので、とてもよい企画だと思いました。カードゲームの楽しさと同時にSDGsのことについて学習できるので、ほんとに一石二鳥な企画だと思いました。こういう機会を頂きありがとうございます。
- ・説明聞いたときは難しかったけど実際やってみてやり方が分かった。

3・あなたは、SDGsに関してどんなことを取り組みますか？

- ・今の状態だとやれるものは限られると思いますが、今の状態でもできるようなことを最大限にやっていきたいと思いました。
- ・FSCマークのものや食べきれず分だけを買う。ごみを減らす。ごみを分別する。節電節水。
- ・フードロスをなくす努力をする。無駄な買い物をする。ごみの分別をしっかりとる。
- ・SDGsを意識したプログラムの提供に心がけたいと思います。
- ・5・ジェンダー平等を実現しよう。～県プログラム委員長として各地区男女一各ずつのコースを県の活動に参画してもらい取り組みを進める。
- ・一人ひとりの声を聴いてあげる。自分も声を出す、助け合えるように取り組みたい。てっちゃん、こんちゃん、りっちゃん、ありがとう。